

②

福沢諭吉訳『らいじゅうそうほう雷銃操法』第1冊 慶応3年(1867)刊

ライフル（ミニエール銃）に関するイギリスの解説書を福沢諭吉が訳した書籍で、3冊刊行されたうち、「濱口梧陵文庫」には1冊が現存します。和歌山藩の藩校学習館の印が押されていることから、同校蔵書だったことが分かります。

学習館は、明治2年(1869)から梧陵が責任者（知事）を務め、さまざまな改革が行われました。